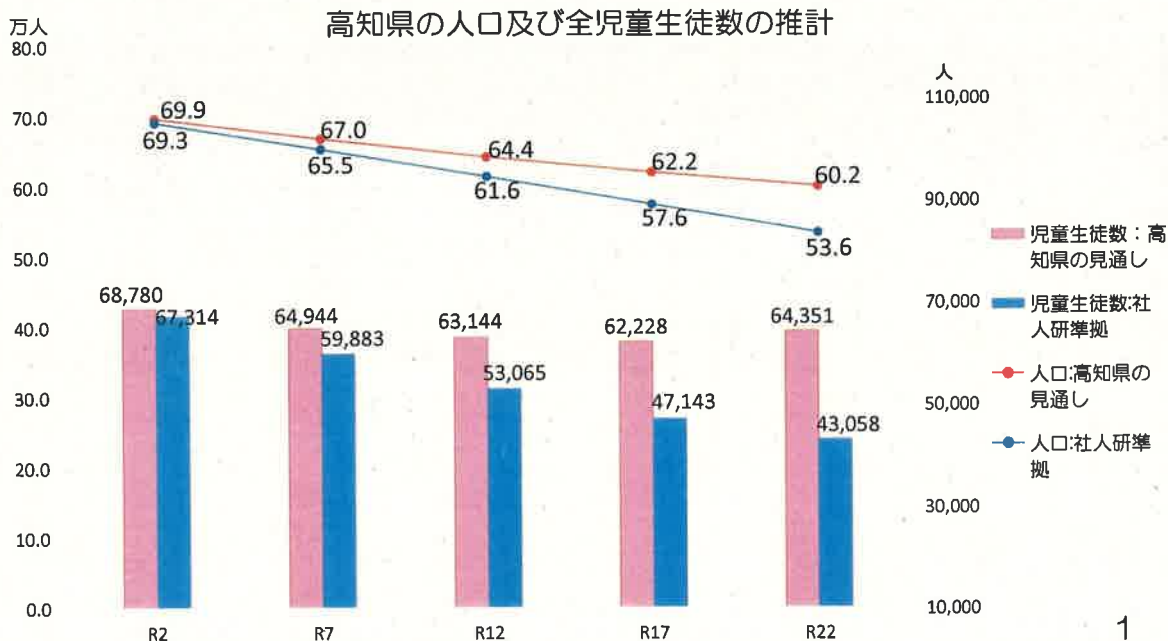


今後の知的障害特別支援学校児童生徒数の  
推計について

令和元年7月10日（水）18:30～

高知県教育委員会事務局特別支援教育課



1

高知県の知的障害児童生徒数推計(高知県の総人口の見通し)

	2010年 H22	2015年 H27	2018年 H30	2020年 R2	2025年 R7	2030年 R12	2035年 R17	2040年 R22
5~9歳		27,952		26,749	25,472	24,907	25,323	27,779
10~14歳		30,848		27,411	26,741	25,465	24,901	25,317
15~19歳		32,977		30,337	27,572	27,201	26,224	25,959
小計		91,777		84,497	79,784	77,572	76,448	79,055
全児童生徒数	82159	74686	70709	68780	64944	63144	62228	64351
知的障害児童生徒数算出率 (全児童生徒数比)	1.30%	1.57%	1.68%	1.75%	1.75%	1.75%	1.75%	1.75%
知的障害児童生徒数	1071	1172	1189	1204	1137	1105	1089	1126
知的障害特別支援学校 児童生徒数算出率 (全児童生徒数比)	0.76%	0.89%	0.97%	1.01%	1.01%	1.01%	1.01%	1.01%
知的障害特別支援学校 児童生徒数	628	664	689	695	656	638	629	650

※全児童生徒数は5~19歳の人口予測に、H27年度の児童生徒数割合(81.4%)を乗じて算出

※知的障害児童生徒数は、H30の在籍率1.68%を基に、今後1.75%まで上昇すると仮定。

※知的障害特別支援学校児童生徒数は、H30の在籍率0.97%を基に、今後1.01%まで上昇すると仮定。

参考 『高知県の総人口の見通し』高知県まち・ひと・しごと創生総合戦略<平成31年度版>H31. 3

2

高知県の知的障害児童生徒数推計(社人研準拠)

	2010年	2015年	2018年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
	H22	H27	H30	R2	R7	R12	R17	R22
5～9歳		27,952		24,947	21,556	19,002	17,586	16,469
10～14歳		30,848		27,411	24,868	21,496	18,956	17,548
15～19歳		32,977		30,337	27,143	24,692	21,373	18,879
小計		91,777		82,695	73,566	65,190	57,915	52,897
全児童生徒数	82159	74686	70709	67314	59883	53065	47143	43058
知的障害児童生徒数算出率 (全児童生徒数比)	1.30%	1.57%	1.68%	1.75%	1.75%	1.75%	1.75%	1.75%
知的障害児童生徒数	1071	1172	1189	1178	1048	929	825	754
知的障害特別支援学校 児童生徒数算出率 (全児童生徒数比)	0.76%	0.89%	0.97%	1.01%	1.01%	1.01%	1.01%	1.01%
知的障害特別支援学校 児童生徒数	628	664	689	680	605	536	476	435

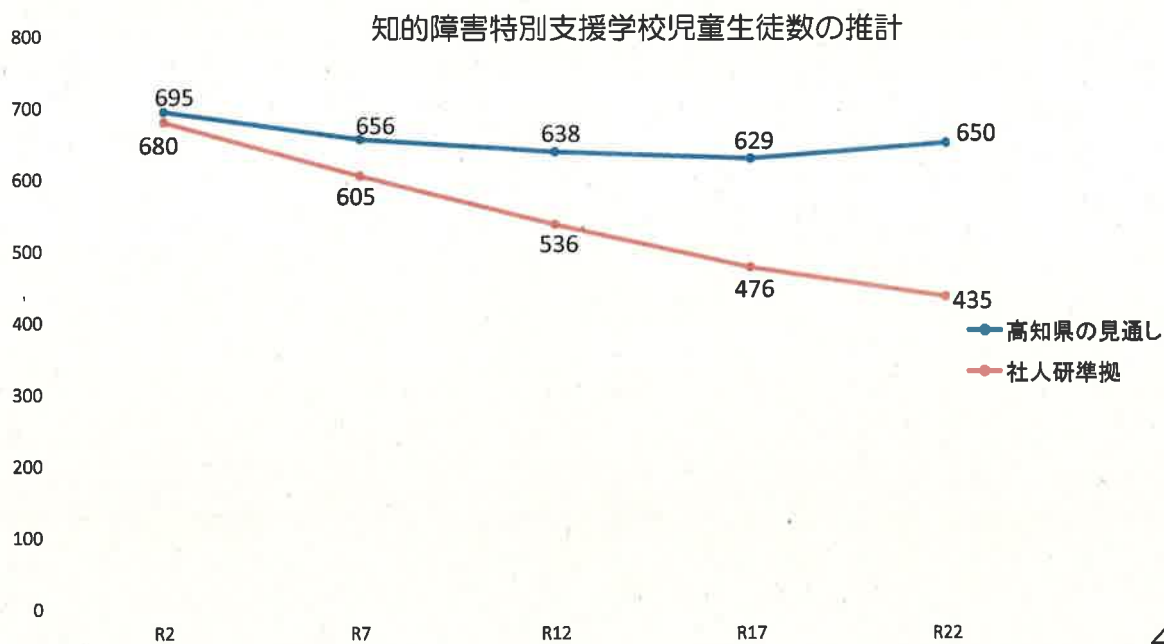
※全児童生徒数は5～19歳の人口予測に、H27年度の児童生徒数割合(81.4%)を乗じて算出

※知的障害児童生徒数は、H30の在籍率1.68%を基に、今後1.75%まで上昇すると仮定。

※知的障害特別支援学校児童生徒数は、H30の在籍率0.97%を基に、今後1.01%まで上昇すると仮定。

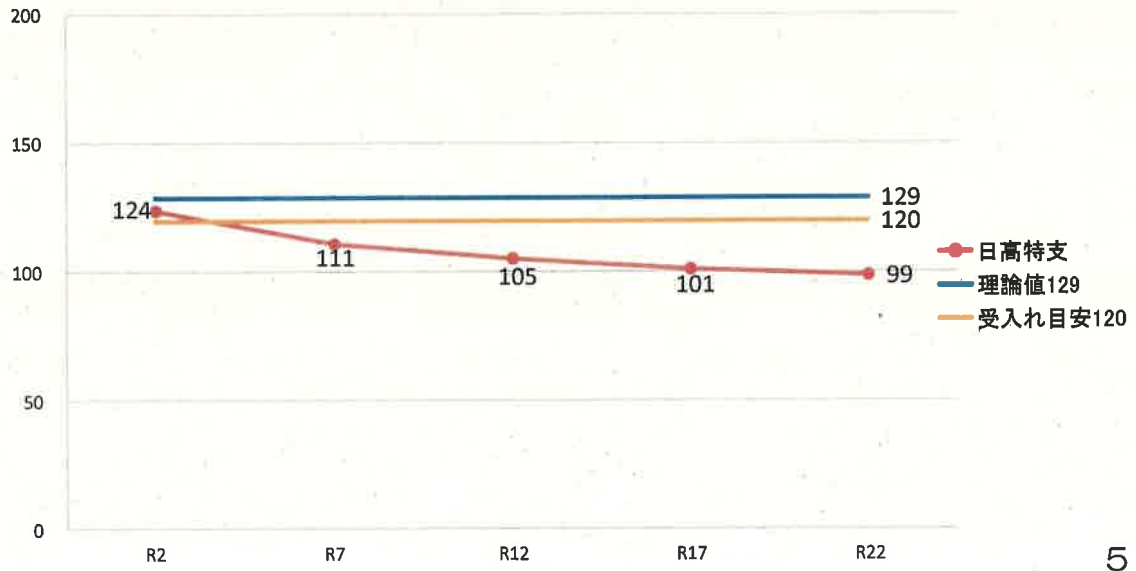
参考 『男女・年齢(5歳)階級別データ「日本の地域別将来推計人口」』国立社会保障・人口問題研究所 H25. 3

3



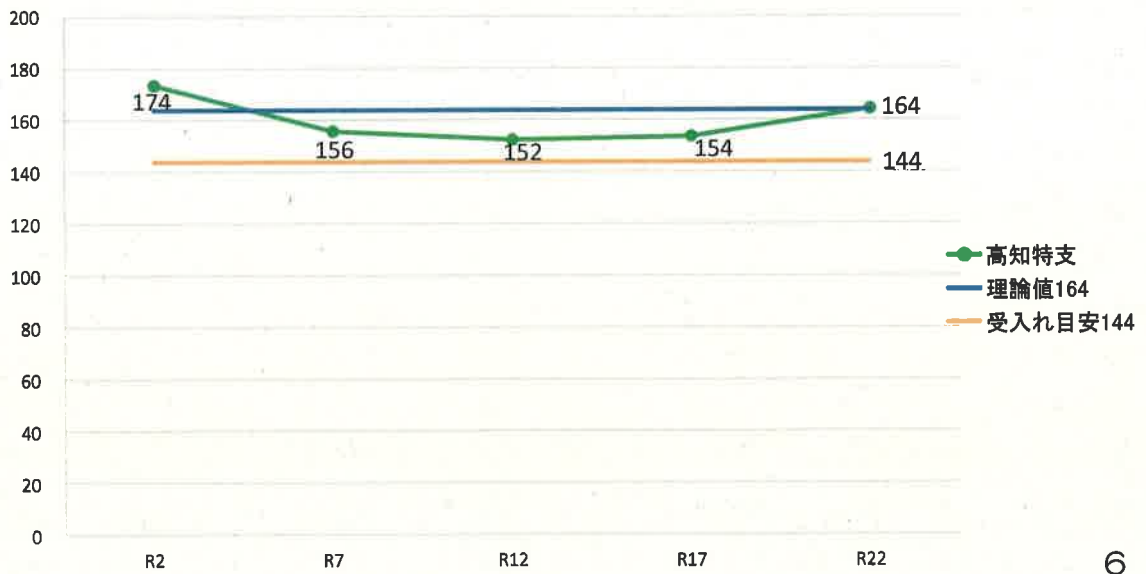
4

日高特別支援学校児童生徒数の推計



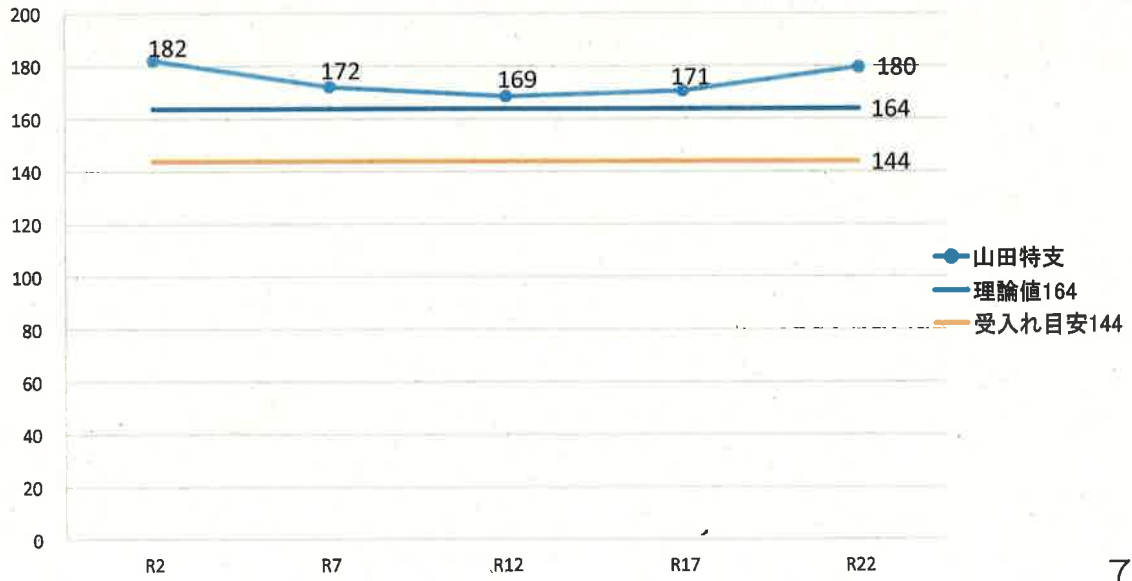
5

高知特別支援学校児童生徒数の推計



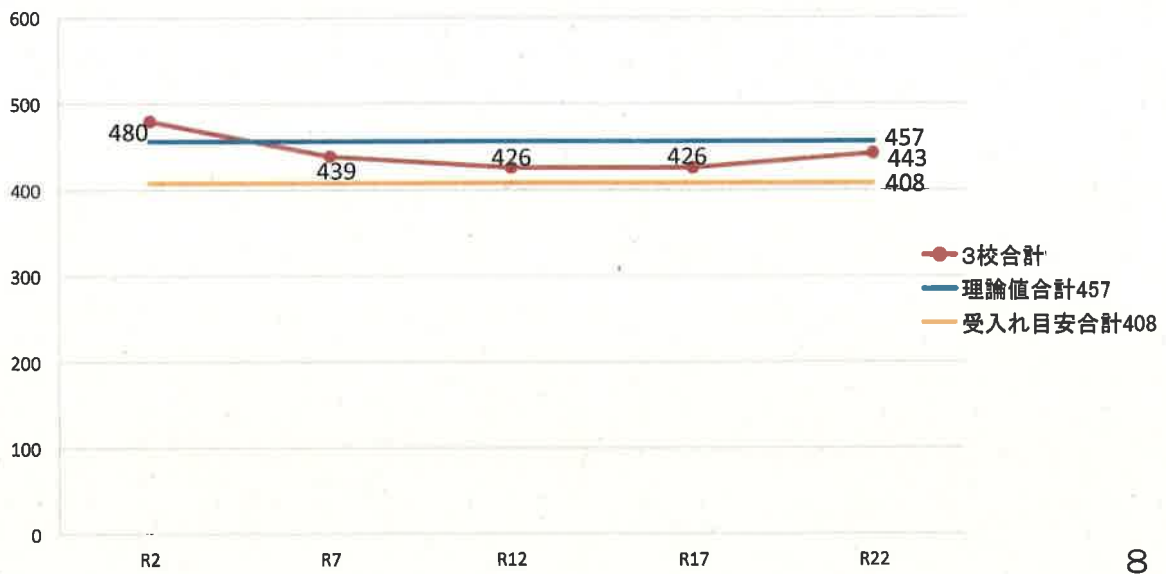
6

山田特別支援学校児童生徒数の推計



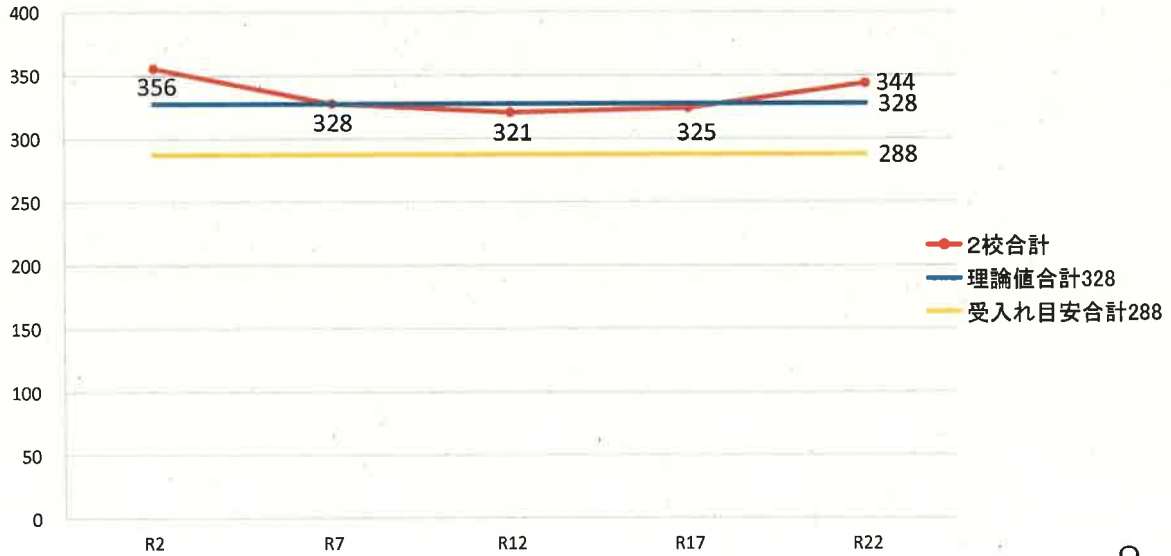
7

日高特支・山田特支・高知特支の児童生徒数の推計



8

山田特支・高知特支の児童生徒数の将来推移予測



9

- ・3校合計の推計は、受入れ目安の合計人数からは上回るものの、理論値内にはかなり収まる
- ・このため、校区の変更等によって、1学級の定員に近い人数を受け入れできれば3校で対応できるが、児童生徒数には地域的な偏りがあり、通学に支障が生じる可能性がある。これでは効果が限定的で、抜本的な対策につながらないため、人口の多い高知市、南国市と、人口が増えている香美市、香南市がある山田特別支援学校校区において、40～50人規模の人数超過に対応するための対応策が必要と考える。

10